

I 平成 24 年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

<事業概要>

本年度より公益財団法人として認定を受け、これまで以上に主体的かつ積極的に事業を実施することが求められる中、事業計画に基づき、初期救急医療事業による安全・安心な医療環境の提供、疾病の早期発見を図るための各種健康診断の実施など地域住民の健康維持・増進事業及び准看護師・歯科衛生士の医療従事者養成事業など、地域の関係機関と緊密な連携調整を図りながら、各部門とも積極的に事業を推進し、地域住民の公益の増進に貢献した。

夜間休日救急診療所部門においては、急病患者の応急処置を主たる目的として、宇都宮市の指定管理者として医師会、歯科医師会及び薬剤師会の協力のもとに管理運営をしており、年末年始、インフルエンザ流行期等患者数の状況に応じ、一次救急医療体制を適正に確保するとともに、「救急医療の適正受診」等についての啓発活動を積極的に実施した。

なお、平成 24 年度の患者総数については、39,077 人で、対前年比 1,526 人、4.1%の増加であり、平成 21 年度の新型インフルエンザ流行時に次ぐ患者数であった。

検診センター部門においては、事業所健診やこども健診において景気低迷や少子化の影響により受診者数は昨年度より減少したが、住民健診において、今年度から新たに開始した乳がん・子宮がん巡回健診等により、昨年より 32.2%増の 25,843 人と大幅な増となり、平成 24 年度の健康診断受診者総数については、対前年比 5.1%増の 102,969 人となった。

また、今年度より新たに実施している公益目的事業では、健診データを活用した地域住民の今後の健康づくりに関する提言を宇都宮市へ提供するとともに、様々な広告媒体を活用して各種健診の受診率向上に向けた普及啓発活動や、受診結果を踏まえ今後の生活改善につながる健康支援活動を実施した。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校部門においては、地域保健医療に貢献しうる有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会などを実施した。

また、准看護師及び歯科衛生士を地域医療従事者として安定的に供給するため、資格取得の支援及び就業支援を実施し、多くの医療従事者を地域の医療機関等へ輩出した。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、夜間や休日の一次救急医療を確保するため、医師会、歯科医師会、及び薬剤師会の協力のもとに管理運営しており、本年度も毎夜間と日曜祝日の昼間に診療を実施し、特に患者が増加する5月の連休、旧盆、年末年始の繁忙期やインフルエンザの流行期など、患者数の状況に合わせてスタッフを配置した。

平成24年度の診療所実施状況については、昼間診療を74日、夜間診療（準夜・深夜）を365日実施し、総患者数は39,077人、対前年比1,526人、4.1%の増加となっている。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	74日
		旧盆(8/13,14,15)		
		年末年始(12/30～1/3)		
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	

イ スタッフ動員数

(単位：人)

区分	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	242	89	173	344	104	321	1,273	1,219	54
準夜	822	382	460	1,225	399	877	4,165	4,137	28
深夜	730	—	365	730	—	365	2,190	2,196	△6
合計	1,794	471	998	2,299	503	1,563	7,628	7,552	76
前年度	1,790	465	987	2,285	476	1,549	7,552	/	
増減	4	6	11	14	27	14	76		

ウ 医科患者利用状況

医科においては、5月頃から減少傾向であったが、12月よりインフルエンザが流行し、12月から1月でピークとなり、結果的に1,124人3.3%増の35,538人となった。

今年度のインフルエンザについては、患者数2,969人、うち成人が1,929人(65%)、小児が1,040人(35%)、成人の占める割合がことのほか多く、型別としてはA型2,550人、B型200人、型別不詳219人であった。

① 医科月別受診者数

(単位:人)

区分	24年													25年			合計	前年度比較	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日数	患者数	増減				
昼間	日数	6	7	4	6	7	7	5	6	7	8	5	6	74	72	2			
	患者数	867	1,078	451	707	750	867	560	732	1,723	2,278	1,014	855	11,882	11,260	622			
	1日平均	144.5	154.0	112.8	117.8	107.1	123.9	112.0	122.0	246.1	284.8	202.8	142.5	160.6	156.4	4.2			
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	△1			
	患者数	1,369	1,369	1,181	1,316	1,257	1,172	1,057	1,156	1,985	2,292	1,452	1,492	17,098	16,798	300			
	1日平均	45.6	44.2	39.4	42.5	40.5	39.1	34.1	38.5	64.0	73.9	51.9	48.1	46.8	45.9	0.9			
	患者数	508	559	467	562	529	478	458	484	858	661	462	532	6,558	6,356	202			
1日平均	16.9	18.0	15.6	18.1	17.1	15.9	14.8	16.1	27.7	21.3	16.5	17.2	18.0	17.4	0.6				
合計	2,744	3,006	2,099	2,585	2,536	2,517	2,075	2,372	4,566	5,231	2,928	2,879	35,538	34,414	1,124				
前年度	2,161	3,206	2,235	2,813	2,514	2,367	2,264	2,034	2,962	4,200	4,249	3,409	34,414						
増減	583	△200	△136	△228	22	150	△189	338	1,604	1,031	△1,321	△530	1,124						

② 医科患者転送状況

(単位:人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	34,732	806	35,538
構成比	97.7%	2.3%	100%
前年度	33,636	778	34,414
増減	1,096	28	1,124

③ 医科転送機関別内訳

(単位:人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO栃	宇社保	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	高橋	宇東				
転送数	465	81	51	41	25	16	0	2	5	4	46	17	53	806
構成比	57.7%	10.0%	6.3%	5.1%	3.1%	2.0%	0.0%	0.2%	0.6%	0.5%	5.7%	2.1%	6.6%	100%
前年度	461	76	56	47	18	4	3	3	4	5	31	14	56	778
増減	4	5	△5	△6	7	12	△3	△1	1	△1	15	3	△3	28

エ 歯科患者利用状況

歯科においては、受診者数が前年比 12.8%，402 人増の 3,539 人となり、主に繁忙期（5 月連休、旧盆）で患者数が増加している。

① 歯科月別受診者数

(単位:人)

区分		24年												合計	前年度比較	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	比較
															患者数	増減
昼間	日数	6	7	4	6	7	7	5	6	7	8	5	6	74	72	2
	患者数	78	147	57	78	141	112	66	72	169	170	73	59	1,222	1,064	158
	1日平均	13.0	21.0	14.3	13.0	20.1	16.0	13.2	12.0	24.1	21.3	14.6	9.8	16.5	14.8	1.7
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	△1
	患者数	151	232	172	171	235	181	169	185	231	206	192	192	2,317	2,073	244
	1日平均	5.0	7.5	5.7	5.5	7.6	6.0	5.5	6.2	7.5	6.6	6.9	6.2	6.3	5.7	0.7
合計		229	379	229	249	376	293	235	257	400	376	265	251	3,539	3,137	402
前年度		235	330	196	246	265	248	246	240	385	357	180	209	3,137		
増減		△6	49	33	3	111	45	△11	17	15	19	85	42	402		

② 歯科患者転送状況 (単位:人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	3,513	26	3,539
構成比	99.3%	0.7%	100%
前年度	3,118	19	3,137
増減	395	7	402

③ 歯科転送機関別内訳 (単位:人)

(単位:人)

区分	NHO栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	16	10	0	0	26
構成比	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100%
前年度	11	7	0	0	18
増減	5	3	0	0	8

(2) 診療体制の強化

ア 医師の安定確保のため、派遣協力医療機関との連携強化

イ 後方病院並びに後方支援病院を始め、協力医療機関との連携強化

ウ 患者の受入実績及び繁忙状況等を踏まえた、的確なスタッフの配置

ゴールデンウィーク（4月29・30日、5月2～6日）、旧盆（8月12～15日）、年末年始（12月30～1月3日）の繁忙期やインフルエンザ流行期における患者増に対し、医師、歯科医師、薬剤師等スタッフを増員し、診療体制の強化を図った。

エ 医療サービス向上のため、スタッフへの効果的な研修・指導の実施として4月、7月、12月に看護師、歯科衛生士、事務員を対象とした後方支援体制、接遇等の研修を、3月は薬剤師を対象に医薬品の安全管理体制について研修を実施した。

(3) 普及・啓発活動

下記の取り組みを実施し、地域住民に対して、救急医療の理解と健康に対する知識の向上を図った。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象として、市保健センターや保健所で開催される「ママパパ学級」において、「救急医療の適正受診」についてのチラシの配付や、口頭による夜間休日救急診療所のかかり方等の指導を行った。

イ メディアを通じた啓発活動

5月の連休、旧盆、年末年始において、夜間休日救急診療所のかかり方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスのラジオ放送を行った。

ウ 啓発資料の公共機関等での配布

お子さんをお持ちの方を対象に、夜間休日救急診療所のかかり方や症状に応じた対処法のチラシを、4ヶ月児健診時（市保健師訪問指導）に配付した。

エ 講演会などの開催

平成24年10月13日（土）に「インフルエンザなんてこわくない」と題した小児専門医による医療講座を実施し、インフルエンザに対する知識と夜間休日救急診療所の適正受診等の啓発活動を実施した。

2 検診センター部門

平成24年度は、設置主体の公益財団法人への移行に伴い、公益目的事業を積極的に推進していくことを最重要課題に掲げ、従来までの健診事業や健康支援事業との両立を図りながら事業運営にあたった。

健診事業については、住民健診における乳がん・子宮がん巡回健診の開始などにより、健診事業全体で前年比5.1%増加の102,969件を実施した。健康支援事業では特定保健指導の他、健康相談、事後指導等を実施し、健診実施後のアフターフォローの充実に努めた。

また、精度管理及び安全管理の各事業については、市民が安心して受診できる健診環境の向上に努めた。

(1) 実施状況

健診受診者数

(単位:件)

健康診断種別	平成24年度		平成23年度		増減		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)	
ア 事業所健診	定期健康診断	23,639	23.0	24,546	25.1	△ 907	△ 3.7
	生活習慣病予防健診	11,473	11.1	11,330	11.6	143	1.3
	人間ドック	1,523	1.5	1,477	1.5	46	3.1
	特殊健康診断	2,467	2.4	2,372	2.4	95	4.0
	結核検診	4,309	4.2	4,608	4.7	△ 299	△ 6.5
	その他の健診	2,183	2.1	1,998	2.3	185	9.3
	小計	45,594	44.3	46,331	47.3	△ 737	△ 1.6
イ 住民健診	節目健診	3,278	3.2	3,466	3.5	△ 188	△ 5.4
	地区健診	8,231	8.0	7,731	7.9	500	6.5
	地区巡回健診	5,157	5.0	4,331	4.4	826	19.1
	乳がん巡回健診	3,147	3.1	0	0.0	3,147	100.0
	子宮がん巡回健診	2,882	2.8	0	0.0	2,882	100.0
	特定健康診査単独	168	0.2	180	0.2	△ 12	△ 6.7
	結核検診	47	0.1	33	0.0	14	△ 62.1
	個別マンモグラフィ検診	2,473	2.4	3,569	3.5	△ 1,096	△ 30.7
	婦人科検診	460	0.4	238	0.2	222	93.3
小計	25,843	25.1	19,548	19.9	6,295	32.2	
ウ 子ども健診	心臓検診	14,235	13.8	14,498	14.8	△ 263	△ 1.8
	結核検診	5,670	5.5	5,455	5.6	215	3.9
	その他の健診	11,627	11.3	12,153	12.4	△ 526	△ 4.3
	小計	31,532	30.6	32,106	32.8	△ 574	△ 1.8
合計	102,969	100.0	97,985	100.0	4,984	5.1	

エ 健康支援事業利用者数

(単位:件)

保健指導区分	平成24年度		平成23年度		増減	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)
特定保健指導	224	23.5	217	19.6	7	3.2
その他の事後支援事業	730	76.5	889	80.4	△ 159	△ 17.9
合計	954	100.0	1,106	100.0	△ 152	△ 13.7

ア 事業所健診

事業所健診は、長引く景気低迷の影響で顧客事業所の従業員数減少等により、特に労働安全衛生法に基づく定期健康診断の受診者数の減少が顕著になっている。

また、事業団施設における生活習慣病予防健診や人間ドックについては、顧客のニーズにきめ細かに対応するなど、顧客サービスの向上に努め、ほぼ前年並みの成績を確保したが、事業所健診全体では、前年比 737 件、1.6%減少の 45,594 件を実施した。

イ 住民健診

住民健診は、新たに乳がん・子宮がん巡回健診を開始したが、年度後半には地区巡回健診と共に日程を追加して実施するなど、巡回方式の健診への市民のニーズ上昇傾向が見られた。一方、個別マンモグラフィ健診は、巡回方式による乳がん健診の実施に伴い減少し、前年を下回る結果となった。

また、早朝健診、夜間健診、協会けんぽとのタイアップ健診等を新たに実施し、市と連携して市民のニーズに対応するなど、住民健診全体では前年比 6,295 件、32.2%増加の 25,843 件を実施した。

ウ 子ども健診

子ども健診は、少子化の影響により全体的に児童、生徒数が減少傾向にあり、小学1年生、4年生及び中学1年生の児童を対象とした学校心臓検診は前年を若干下回る結果となった。

また、結核検診は、新規の専門学校の顧客増加により実施件数が増加したが、幼稚園・保育園児を対象とした尿検査や寄生虫卵検査等のその他の健診は、心臓検診同様に減少し、子ども健診全体では、前年比 574 件、1.8%減少の 31,532 件を実施した。

エ 健康支援事業

特定保健指導は、制度開始以来、低迷が続いており、本年度においても目立った変化は見られないが、事業所単位での出張型の受講希望者が増加したことなどから、前年比 7 件増の 224 件を実施した。

また、人間ドックや生活習慣病予防健診受診者の希望者を対象に実施している事後指導、健康相談、結果説明等のその他の支援事業はそれぞれ前年を下回り、健康支援事業全体では、前年比 152 件減少の 954 件を実施した。

(2) 公益目的事業

ア 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

宇都宮市国民健康保険組合の組合員及びその被扶養者に対する特定健康診査・特定保健指導で得られた結果データを全国及び栃木県のデータと比較分析すると共に過去4年間の経年変化についても比較分析し、その結果を宇都宮市に提供した。

イ 健康支援事業

・市内事業所の従業員を対象に健康診断の結果データを基に、それぞれの事業所の要

望に対応したテーマで健康教室を開催した。

※6月20日 三信電工(株), 10月6日 小平興業(株)

・市内小中学校の心臓検診の結果データを基に統計資料を作成, 8月3日開催の養護教員研修会で報告し, 市内小中学校児童の心臓疾患の現状を周知した。

ウ 普及・啓発活動

① 保健師による健康教育及び健康指導

宇都宮市の自治会連合会や老人クラブ連合会を通じて, 受講希望団体を募集し, 保健師が出向いて健康に関する出前講話を実施した。

※1月12日 松風台老人会, 2月15日 雀宮寿会老人会, 3月5日 西宮自治会
3月13日 茂原団地和楽会, 3月27日 昭寿会

② 各種健診の受診率向上への取り組み

10月の乳がん撲滅ピンクリボン運動月間に職員がピンクリボンバッジを着用すると共に横断幕を事業団建物に掲示, さらに健診車に啓発ボードを掲示して, 乳がん検診について広く市民に周知した。

③ 講演会の開催

平成25年2月23日, 事業団講堂において医師を講師として, 健康に関する講話を実施すると共に自転車のプロ競技団体による実技指導を行うなど, 市民の健康増進に関する講演会を開催した。

④ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

保健師が健康に関する冊子を作成, 労働基準協会を通じて同協会の会員事業所に配布すると共に事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供した。

※冊子配布(年4回): 「花粉症対策」, 「禁煙対策」, 「消費カロリーアップ方法」, 「理想的な運動量」

※ホームページ掲載(年4回): 「快適睡眠」, 「食中毒予防」, 「肌の乾燥対策」, 「紫外線対策」

⑤ メディアを通じた普及・啓発活動

地域住民が健康について考えるきっかけとするため, 各種疾病や健康に関する予防月間等の際にその意義や予防について栃木放送と下野新聞を通じて広く市民に周知した。

※9月「がん征圧」, 10月「ピンクリボン運動」, 11月「糖尿病予防」, 12月「インフルエンザ対策」, 1月「生活習慣病予防」, 2月「アレルギー対策」, 3月「女性の健康」

(3) 精度管理

ア 健診スタッフの技術の向上

全国労働衛生団体連合会や人間ドック学会等が主催する各種の学会, 研修会に保健師, 看護師, 検査技師, X線技師等の職員を参加させ, 資質技術の向上に努めた。

イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼働し, 正確なデータを確保できるよう, 日々の始業点検や保守点検を徹底すると共に再現性の検証等を定期的実施した。

ウ 外部精度管理への参加

全国労働衛生団体連合会が主催するX線検査，血液検体検査，労働衛生検査及びマンモグラフィ精度管理中央委員会が主催するマンモグラフィ検査の外部精度管理事業に参加して各種検査の精度向上に努めた。

(4) 安全管理

ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリハット事例の原因分析，防止対策等を組織的に検討し，その結果を職員及びスタッフへ周知し，事故防止への意識昂揚を図り，安心・安全な健診の実施に努めた。

イ 安全対策の強化

過去に発生した事故事例の教訓を活かし，発生頻度の高い採血事故等の防止のため，健診前ミーティングや研修会等において健診スタッフへの指導を徹底し，同種事故の再発防止に努めた。

ウ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として，結果票等帳票類や検査データ等の適正管理に努めると共に検体検査や廃棄物処理の委託先の管理状況を定期的に調査するなど，対外的な安全対策に取り組んだ。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献しうる有能な人材を育成するため、教育器材及び学校図書を整備を行なうとともに、講師及び実習指導者との連携強化を図り指導体制を整えるなど、教育環境の充実を図った。

また、休学・退学者を減らす試みとして諸事情を抱える生徒に対して、県のカウンセラー派遣事業を利用し、昨年度に引き続きカウンセラグループを開設した（2回/月）。

生徒の特徴として、幅広い年齢層の社会人入学生が増えていることから、学校行事として新しい人間関係の構築を目的とした1・2年生合同の球技大会を実施した。

生徒確保においては、携帯サイトやホームページでの継続的なPRをするとともに、4回の学校見学会を実施した。

卒業後の進路については、より一層地域医療への貢献が望まれる中、就業支援にも取り組んだ。

(1) 教育実施状況

学年	生徒数 24年4月 (人)	教育科目（座学講義）				臨地実習			教育実施 時間合計 (時間)
		基礎 科目	専門基礎 科目	専門 科目	合計	協力 講師数	実習 時間	実習 施設	
		国語 外国語 音楽 その他	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 その他	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護					
1年生	44	92	276	398	766	46	309	16	1,075
2年生	43	22	115	280	417		430		847
合計	87	114	391	678	1,183	46	739	16	1,922

(2) 生徒確保対策の強化

ア 県内在校生及び卒業生の出身校の訪問（県立高5校 私立高1校）

イ 学校見学会の実施（4回，参加者総数 51名）

- ・ 平日2回（現役高校生が主な対象）
- ・ 休日2回（社会人が主な対象）

ウ 広報活動の充実

- ・ パソコン，携帯アクセスサイト「ベスト進学ネット」への掲載（資料請求196件）
- ・ 宇都宮市広報紙掲載2回（11月・2月）
- ・ 平成25年度募集要項作成，医療機関・県内高等学校への送付
- ・ 入学案内のポスター，パンフレット作成，医療機関での掲示
- ・ ホームページへの掲示
- ・ 進学情報誌「さんぼう」，「照常広報」，「教育弘報研究所」出版社へのアンケート協力により学校案内の掲載
- ・ 教習所等若者の集まる場所へのポスター掲示依頼

エ 推薦入学制度の実施（高校生，社会人）

- ・ 推薦入試受験者 11名，入学者 8名

(3) 教育環境の充実

- ア 教育器材の整備
 - ・ 演習モデル人形の更新
- イ 学校図書 of 充実
 - ・ 図書の整備, 充実 (臨床実習に即した参考図書を増冊)
- ウ カウンセリングルームの開設 (月 2 回)
 - ・ 県のカウンセラー派遣事業の利用

(4) 教育内容の充実

- ア 専任教員の資質の向上
 - ・ 栃木県看護教員養成講習会 (1 年間) に 1 名が参加, 領域別看護教育研究会, 栃木県看護系教員協議会研修会, 日本看護協会学術集会 (盛岡市) 参加, 研修報告会の開催
- イ 講師及び実習指導者との円滑な連携の推進
 - ・ 実習指導者会議
 - ・ 実習引率, 基礎実習反省会への出席

(5) 実践活動の充実

- ア 施設見学, 校外研修 (解剖見学・高齢者とのふれあい体験等) の実施
- イ 1・2 年生の合同球技大会の実施・映画鑑賞 (1 年生)
- ウ 特別講演「エイズ教育」の開催

(6) 地域医療への就業支援

- ア 県内・市内医療機関からの看護職員募集に関する情報の提供
- イ ミスマッチを予防するための相談・指導

(7) 1 年生の状況

	人数	備 考
生徒数	44	入学者 43 名 (受験者 123 名 競争率 2.9 倍) 復学者 1 名
進路変更等	5	進路変更 2 名 休学 2 名 留年 1 名
進級者	39	

(8) 2 年生の状況

	人数	備 考
卒業生	42	
准看護試験合格者	42	合格率 100%
卒業生の進路		
看護師学校進学者	13	進学率 30.9%
看護師学校進学兼就職者	12	進学兼就職率 28.5%
医療機関就職者	17	就職率 40.6%
進学準備等	0	
合 計	42	

(9) 平成 25 年度生の募集状況

試験科目…………… 国語，一般教養，作文，適性検査，面接

	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推薦入試	平成 24 年 10 月 18 日 (一般教養・面接)	11	8 (8)	1.4
一般入試 (第 1 回)	平成 24 年 11 月 27 日 (学科・面接)	55	24 (21)	2.3
一般入試 (第 2 回)	平成 25 年 3 月 12 日 (学科・面接)	32	20 (14)	1.6
合 計		98	52 (43)	1.9

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書の整備を行うなど、教育環境の充実を図った。

また、初の3年生が誕生し、新たな授業計画に基づく講義を開始するとともに、大学病院・介護施設での実習等を新たに実施するなど、実習体制の充実を図った。

(1) 教育実施状況

学年	人数 (人)	教育科目（座学講義）				合計 (時間)	協力 講師数 (人)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修 分野		
		英 語 生 物 心 理 学 そ の 他 (時間)	解 剖 学 組 織 発 生 学 生 理 学 生 化 学 歯 牙 解 剖 学 病 理 学 薬 理 学 そ の 他 (時間)	歯 科 衛 生 士 概 論 歯 科 臨 床 概 論 保 存 修 復 歯 内 療 法 歯 科 補 綴 学 歯 周 保 存 療 法 口 腔 外 科 学 そ の 他 (時間)	情 報 処 理 社 会 人 マ ナ 耳 鼻 科 内 科 小 児 科 (時間)		
1年生	45	60	285	525	0	870	28
2年生	46	45	15	45	45	150	11
3年生	44	45	75	284	70	465	14
合 計	135	150	375	854	135	1,514	53

学年	人数 (人)	臨床実習		施設臨床実習 介護施設実習		教 育 実 施 時 間 合 計 (時間)
		実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
1年生	45	—	—	—	—	870
2年生	46	720	34	—	—	870
3年生	44	270		36	5	800
合 計	135	990	34	36	5	2,540

(2) 学生確保対策の強化

ア オープンキャンパスの実施（4回）

- ・ 平日2回、休日2回で実施

イ 広報活動の充実

- ・ 宇都宮市広報紙掲載2回（10月・12月）
- ・ 進学情報誌掲載
- ・ インターネットによる広報

- ・ 宇都宮市内の全中学校や栃木県内の一部の中学校に中学生向けポスターを送付
 - ・ 路線バスへのステッカー広告掲出
- ウ 進路相談会への参加
- ・ 栄美通信主催進学相談会参加
 - ・ 栃木県内学校進学相談会参加
- エ 推薦指定校訪問

(3) 教育環境の充実

- ア 学校図書の実践
- ・ 最新図書の購入
- イ 教育用機材の実践
- ・ カラー複写機の購入

(4) 教育内容の実践

- ア 専任教員の資質の向上
- ・ 第3回日本歯科衛生教育学会への参加
- イ 講師及び指導教員との円滑な連携の推進
- ・ 講師指導教員打合会を開催し、指導教員と実習内容について協議

(5) 実践活動の実践

- ア フッ化物塗布事業、歯の健康教室への参加
- イ 特別講義の実施
- ・ 「ホワイトニング」「音波ブラシの使い方」「レーザー機器の取扱」等の実施

(6) 地域医療への就業支援

- ・ 歯科衛生士の資格を修得させ、地域の医療機関等へ就業させることにより地域医療従事者の安定供給に努めた。
- ・ 12月より就業支援を行い、希望者41名全員が就職した。

(7) 1年生（第35期生）の状況

	人数	備 考
学生数	50	受験者数 62名 (競争率 1.2倍)
進路変更等	5	退学者 5名 (進路変更等)
進級者	45	

(8) 2年生（第34期生）の状況

	人数	備 考
学生数	49	
進路変更等	3	休学者 2名, 退学者 1名 (進路変更等)
進級者	46	

(9) 3年生（第33期生）の状況

	人数	備考
卒業生	44	
国家試験合格者	42	合格率 95.5%
卒業生の進路		
就職者（歯科衛生士）	41	就職希望者 41名（就職率 100%）
就職者（歯科助手）	0	
その他	3	
合計	44	

(10) 平成25年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合，適性検査，面接

試験区分	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入 試	平成24年9月30日	17	14 (14)	1.2
推薦・特別入学	平成24年10月25日	32	32 (32)	1.0
一般入学	平成25年1月10日	10	3 (3)	3.3
一般入学(2次)	平成25年2月17日	4	1 (1)	4.0
一般入学(3次)	平成25年3月24日	実施せず	—	—
合計		63	50 (50)	1.3

※ 平成25年度入学生 50名